

暖 暖 松 山

だんだんまつやま

vol.

8

Take Free

瀬戸内・松山

暮らしたくなる

「ベストサイズ」のまち。



ちようどいいサイズの 都市を包む丸い空気感

近年、ますます地方が目される時代になりました。自分の価値観やライフスタイルを問い直す人が増えたからだといわれています。

日本列島を見渡せば、住みやすいまちはゴマンとあり、都会と田舎のいいとこ取りをした地方都市は、どこもそれほど変わらないんじゃないか、そう思っている人もいるでしょう。

しかし、松山の魅力はやっぱり群を抜いている、と主張したいのが、今回の「暖暖松山」。

この街は、経済活動や自然との距離、人とのつきあいが絶妙なバランスの上に成り立っている、
“ベストサイズ”のまち。

冬の陽射しのやさしさも、ゆるりとした空気感も、ほかの土地とはひと味違う心地よさを持っています。人は、ご縁があったり自分のアンテナにひっかかるものがあつたりして、見知らぬ街に興味を持つものですが、手にとっていたいただいたこの「暖暖松山」が、あなたの感性をくすぐって、松山との橋渡しになつてくれると信じています。



田舎のおだやかさもあれば、都会の便利さもある。文化や歴史の楽しみもあれば、海や島の楽しみもある。あつたかい温泉もあれば、あつたかい人間味もある。松山は、何かひとつだけがスゴイのではなく、いろんなよさが絶妙に程よく混ざり合う街です。気の向くままにいろいろ楽しみ、味わい、暮らせる街です。そういう松山らしい、ちようどいい豊かさ。この街に住む人、訪れる人に、もっともっと。

松山の魅力を発信する冊子

「暖暖松山」8号

目次

- ② 県外からやってきた私たちの松山スタイル
- ① スタイル1 湯の町・道後に暮らす 都市感と美観に惹かれてやってきた。仕事も家庭も充実の日々
- ④ スタイル2 郊外の住宅地に暮らす 地に足のついた生活ができる子育てに“もってこい”の街
- ⑥ スタイル3 港町・三津浜に暮らす 人生を愛するアーティストが選んだのは 楽しくて生活の響きが聞こえる人情の地
- ⑧ スタイル4 離島・中島に暮らす 日本一の柑橘を生み出す島で 今に伝わるスローライフを楽しむ
- ⑩ クチコミグルメ 家族で出かけるお気に入りの店
- ⑫ 暮らしやすさ満載 いい感じのコンパクトシティ
- ⑭ 数字が語るもの
- ⑮ データでみる松山・愛媛のよいところ 道後温泉だけじゃない
- ⑯ 松山人の温泉通いは生活の一部
- ⑰ この街に暮らすフランス人がみたメンタリテイ “程よさ”の天才 松山人！
- ⑱ 松山市からのご案内



東京から
松山へ

撮影にもびつたりの素敵なおところが多い街

松山はもともと好きで遊びに来ていた街。独身だったら東京で仕事を続けたのですが、震災後、家族ができて気持ちよく暮らしたいとの思いがつのり、友人が松山に移住したこともあり、「お試しでこの街に住んでみようかな」と、遠くに引越す感覚でやってきました。住んで

フォトグラファー 大野和香奈さん

みたら想像以上。美しい瀬戸内海、安全な食べ物、待ち時間の少ない病院、職場と保育園の近さ…。ライフスタイルのバランスがとていいんです。海も山も近く、景色のよいところが多いので、撮影場所に困らない。松山は私にぴつたりの街なんです。

東京では桐島ローランドに師事後、独立して向井写真集、福士蒼汰写真集、内田彩仍著作物などを手がける。雑誌「リンネル」「天然生活」等でも活動。表紙写真は、大野和香奈さん一家。スタジオ前で撮影。このページの写真もすべて大野さんが松山で撮影。

※本誌に掲載している情報は、「暖暖松山」編集部が独自に選定しています。

県外から
やってきた

私たちの 松山スタイル

縁あって、この街が特別な場所になった4家族に、
移り住んだからこそわかる松山の良さをうかがった。
住むことになった経緯や生活スタイルは異なるものの、
共通するのは、「暮らしやすさ」だ。

都市感と美観に
惹かれてやってきた。
仕事も家庭も充実の日々



森本さん一家

夫 健一郎さん 37歳 妻 美智子さん 38歳
長男 9歳、長女 5歳、次女 0歳
健一郎さんの実家は埼玉県。
美智子さんは愛媛県新居浜市出身。

道後公園にて

松山市中心部にあるIT関連企業、株式会社アイムービック。
社長・森本健一郎さんは、
埼玉県本庄市から松山へ移り住み、
ここで起業し成功を収めたビジネスマンだ。

美しい都市・松山で起業

森本さんは学生時代、松山
に遊びに来た時、ライトアップ
された松山城や街路樹の美し
さ、清潔でゴミもない綺麗な
街並みに非常に感動したと
いう。ビジネス街や繁華街に
見られる若者に魅力的な都
市感も気に入った。

松山で働こうかなと、就職先
も決めないまま、ここで就職
していた現在の奥様、美智子
さんのもとに、卒業直後に、
「来ちゃった」のだそうだ。

人材派遣会社に入社した
森本さんは、営業中にIT企
業に勤める男性と知り合い、
ウェブサイトの制作などを手
がける会社と一緒に立ち上げた。
一年半後に解散するが、これ
が今の会社の原型となる。
その後、一人で営業と制作を
続け、10年前にウェブサイトの
制作やスマホアプリを開発す
るアイムービックを起業した。



ロードバイクのサークル仲間としまなみ海道を走る

現在は、妻の美智子さんも同
社に勤務、組織の中核となる
総務と経理を担当している。
仕事の8割が東京からの
依頼だ。初めは東京で仕事を
している愛媛県人にアプ
ローチしていき、その実績が
認められて、次々に仕事が広
がった。「今はパソコンでや
り取りができるし、テレビ
会議もできますしね。地方で
も、都会に近い形で仕事がで
きる時代になったのではな
いでしょうか」



アイムービックのオフィス。森本社長と同じように、妻が愛媛出身
でご主人が松山に来た1ターンの社員が多い

湯の町情緒と自転車と

住まいは、道後温泉から徒
歩10分の所にある。
「休日には家族で道後の町を
そぞろ歩き。無料の足湯につ
かったり、贅沢な気分を味
わっています」

職場までは約15分の自転車
通勤。松山市内はほぼ平坦な
ので、社員の約7割が自転車
通勤だ。社内にはロードバイ
ク愛好家も多く、オフィスの
入口には、通勤用のロードバ
イクがずらりと並ぶ。サーク
ルを結成して、週末には遠出
をすることもあるという。

「松山は仕事と家庭の両立
がしやすいですね。雰囲気も
いいし、治安もいい。稀な街
ではないかと思えます」



石畳が敷かれた道後・熱田津(にきたつ)の道は風情ある通り。付近は住宅街で、暮らしの息づかいを感じる



いつも利用する道後の旅館の足湯で。道後温泉に
は無料で利用できる足湯・手湯が11カ所ある

地に足のついた生活ができる 子育てに“もってこい”の街

黒河留美子さんは埼玉県大宮市(現さいたま市)出身。ご主人の栄一朗さんが家業を継ぐことになったため、実家のある松山へ転居してきた。3人の小学生のお子さんを持つ子育て真っ最中のお母さんだ。



黒河さん一家
夫 栄一朗さん 42歳、妻 留美子さん 43歳
長女 12歳、次女 10歳、長男 7歳
平成20年にさいたま市から一家で移り住む。



城山公園の大木で遊ぶ

街の広さも人の多さも 丁度いい

黒河家は、市内でも便利な住宅地にある。それでも引越してきた当初は、公共交通機関やお店の少ないこと、終了時刻の早いことにびっくりしたそう。

「でも、すでにいる電車で数分乗れば市内中心部。ペーターカーを押しておしゃれなカフェやショップに入れる優しい雰囲気、大人の時間も満喫していました」

以前は、目的地に行くにも時間がかかり、何にでも長時間並ばなければいけなかったのに、「松山では海や動物園でゆっくり遊んで温泉に入り、夕飯を食べて帰っても、まだ18時！広さも人の多さもジャストです」

近所のお店に並ぶ地元産の野菜は、とても新鮮で量も多い。時々虫もいるが、安全な証拠だからと、洗って使う。

「東京は情報も品物も最先端でグローバル。毎日がパーティのよう。今思えばついていくのに必死で浮き足立っていたかも…」

地域から学ぶ子どもたち

住居の周辺は田畑も多く残っている長閑な環境だ。子どもたちは、小学校からの帰り道に、道端の雑草や川のザリガニ、雨上がりの水たまりで夢中になって遊ぶ。遊園地に行かなくても、おもちゃがなくとも、そこにあるもので遊ぶことができる。

農作業中のおばあちゃんから野菜をもらって帰ったこともあった。地域のひととの繋がりは、子どもの安全にも繋がる。保護者が子どもの友達の名前や家の場所まで把握している安心感。

「昔は当たり前だったことが、ここには残っています。地に足がついた子育てができる良い環境だなと思います」



ふたみシーサイド公園では、渚や砂浜で遊んだり、ぼーっとしたりして過ごすという

自分の存在を感じられる街

週に幾度も広いお風呂に入りたくて、近くの温泉まで歩いていく。そこで「たまたま」出会ったアロマテラピーは、松山に協会本部があったことから資格をとり、マイペースで教室を開いた時期もあった。今はまた「たまたま」声をかけてもらい、子どもが全員小学生になったのを機に、昔関わった美容の世界に復帰している。

初めての土地で、わずか7年の間に作った広い人脈。「小さな街だからこそ、松山では人と繋がっていきやすい。私にも目を向けてもらえるので、自分の存在をちゃんと感じられます」



自宅近くの田舎道で遊ぶ子どもたち



松山に隣接する伊予市の「ふたみシーサイド公園」は、休日に家族でよく出かける場所



街なかにあるお気に入りの雑貨店で

人生を愛するアーティストが選んだのは
楽しくて生活の響きが聞こえる人情の地



中ムラさん一家

サトコさん 43歳 岐阜県高山市出身。
長男 13歳、次男 8歳、三男 4歳
平成24年に横浜市から移り住む。

三津浜は、江戸時代に松山の玄関として栄えた港町。かつての賑わいを失ったこの町に、近年、県内外からアーティストやクリエイターが集まっている。横浜からやってきた中ムラサトコさんもその一人だ。



「中ムラサトコがやってくる、きっと面白いことになるよ」と住民に紹介してくれた「田中戸」の田中章友さん。三津浜の新しい風を呼び起こすきっかけとなった人物である(田中戸にて)

町の風情に心惹かれ

中ムラサトコさんは、手作り太鼓や足踏みオルガンを奏でながら歌う、稀有な存在のヴォイスパフォーマンス。そして母親でもある。

三津浜との出会いはコンサートツアーで訪れた平成22年。寂れた商店街には異質の、若者向け喫茶店「田中戸」で、近所のお年寄りたちがお茶を飲んでいる光景に、ステキな町だなという印象を持った。翌年、東日本大震災が起こる。原発事故の情報が錯綜し人々は不安を抱えていた。その時妊娠中だった中ムラさんの脳裏に浮かんだのは、三津浜の風景だった。

ミツハマル※と「田中戸」のオーナー、田中章友さんの協力を得て、古い民家に居を構えた。

迷惑はかけ合うもの

三津浜では、新鮮で美味しい野菜や魚介が安く手に入る。魚のさばき方は近所の魚屋で教わった。

ある日、保育園で給食に鯛が丸ごと一匹出され、保育士が丁寧に身をほぐしてくれたことがあった。子どもたちに地元の食文化を伝えていく港町の流儀に、中ムラさんは感動を覚えた。商店街で行うコンサートには、町内外から大勢のファンが押し寄せる。賑やかだった昔を知るお年寄りは、町が活気を取り戻しつつあることが嬉しいようだ。

遠方での仕事の時は、知人が子どもを無償で預かってくれる。金銭のお礼は最初



松山在住のサンドアートパフォーマンス・田村祐子さんとのコラボレーション。体中に染み渡る中ムラさんの歌声と、次々に変化する砂絵に観客は酔いしれる

断られた。隣近所は助け合うもの、迷惑はかけ合うもの、だからだ。

「他人に迷惑をかけちゃいけないと頑張ってきましたが、今は、町の人に助けられて助けながら生きるのが、本当の生活なのではないかと思えるようになりました。すると肩の力も抜け、自然に生きられるようになったのです」と話す。

「以前は子どもを育てるために、どんな仕事も引受けました。東京には人やモノがあふれ、お金さえ出せば品物もサービスマンも手に入る。でも本当に欲しいものは手に入らなかった」中ムラさんは、今も東京や横浜でのライブを続けている。松山空港へは車で約20分ほど。成田までLCCも飛んでいて経済的だ。のんびりとした風情に倣い、お気に入りのこの町でマイペースに暮らす日々である。

※ミツハマル
中ムラさんが住居探しに利用した地元組織。三津浜のまちづくりの拠点で、松山市のプロジェクトの一部も請け負う。町の魅力を発信したり、希望する人に古い空き家などを紹介する町家バンクの役割も担ったりしている



「今まで幾度も引っ越しをしたけれど、ここには根をおろせそう」と語る中ムラさん。現在、自宅では貸本や古本の店「3と6」も開いている



「しんどい時、何度も風景に助けられた」という郷愁をさそう三津浜の景色。「三津の渡し」で知られる渡船があり、ゆっくりと兩岸を往復している

日本一の柑橘を生み出す島で 今に伝わる スロライフを楽しむ

平成25年、蛇石さん一家は、柑橘の専業農家として、松山の沖合約10kmにある瀬戸内の離島で「みずたま農園」を経営することにした。以来、島暮らし、島時間が、四国とは縁もゆかりもなかった都会育ちの夫婦を魅了し続けている。



へびいし
蛇石さん一家
だいてつ
夫 大哲さん 44歳、妻 美歌さん 36歳
長女 8歳、次女 6歳、長男 3歳
ご夫婦とも調布市出身。平成25年
12月に東京都羽村市から中島に移り住む。

移住を支えるネット環境

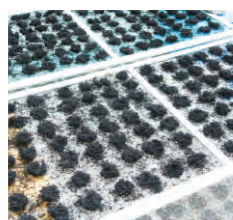
蛇石さん夫妻は、東京都西部のベッドタウンから中島に移住して以来「毎日が楽しくてかたない」と目を輝かせる。安定した勤務先に不満はなかった。生活も保証されていた。が、都会のサラリーマン生活や往復3時間の通勤で、自分がロボットであるかのような無力感に苛まれていた。何気なく検索したスマホから「農業と音楽で地域を結ぶNPO」のコピーが目に入った。これが、中島への移住のきっかけとなった「農音」※との出会いだっただけで、初めて訪れた中島は、エネルギーギッシュな街を見慣れた彼に



島中に広がるみかんの水玉模様、農園の名前の由来

は当初、心もとなく映った。しかし、「この島で作れない柑橘はない」と言われる中島には、日本一おいしいみかんを育む気候と、古民家と耕作放棄地があった。インターネットを通じて販路を確保すれば、生活できるとみた。

誇りを持って自分たちらしく生きるため、二人は柑橘を栽培し直販する専業農家になることを決めた。景色のよい場所への移住を希望した彼らに、中島の青く透き通った海と深い緑は、十分に応えてくれるものだった。



上/倉庫の屋上は、乾物の加工場でもある。島ヒジギを干しているところ
左/美歌さんは染色の妙にはまっている。帽子と手に持つワンピースはヒジギ染め

※農音：首都圏から20〜40代の若者が中島に移り住み、移住を促進するNPO法人。移住者が島で柑橘を作り、未移住メンバーが都市部で販路を開拓する

競争しない社会の魅力

蛇石家のお隣には、島暮らしの知恵を授けてくれる「師匠」が住んでいて、島に伝わる捨てるものを出さない師匠の暮らし方に、とても感動すると語る。たとえば、伐採した柑橘の枝葉で風呂を沸かす。その熾き炭で料理をし、最後に残る灰で染色や畑の土壌改良をする。生活に必要なものと生活から出るものが循環する素晴らしさ。

夫妻は、まるで磯遊びでもするかのよう、耕作や草木染めや火のある生活を楽しんでいる。更に太陽光発電、バイオトイレと、スロライフへの夢はどんどん膨らむ。夫妻は日々の暮らしをブログで発信している。そこには「ここ中島 何と申しますか、島全体に商売っ気が皆無です。そしてそれが僕達がこの島を愛している最大の理由な気がします」とあった。

ゆったり流れる島時間と手つかずの自然に包まれて家族と過ごす時、二人は、人間本来が持つ喜びを噛みしめているように思われる。



蛇石さんが暮らす宇和間(うわま)の集落。対岸に見える大きな島は怒和島(ぬわじま)



どの畑も家から数分程度の距離にある

FAVORITE GOURMET

本誌に登場していただいた方々に、
家族で出かけるお気に入りのお店を教えてください。
松山に来て見つけた、家族ナットクの店を紹介しよう。

中島の隠れ グルメ店

基本メニューに鮮魚はないが、地物のエビだけはよく置いている



ないと ナイト

食材にこだわるカラオケ居酒屋。昼定食は当日予約可。海鮮料理も数日前から予約すればOK。カラオケのない個室もある。幸福天井が自慢。

📍 松山市小浜甲1468
☎ 089-997-0512, 090-9558-1839
🕒 12:00~24:00(要予約)
📞 無休

幸福天井(大)700円、エビの塩焼き1,000円、オムそば650円、タイの塩焼き700円~



蛇石さんおすすめ
ナイトは営業時間が長くて助かる店。瀬戸には銅焼きうどんファンもいるんですよ。



おしょくじどころ せと お食事処 瀬戸

予約なしで行くことができ、地物の魚介類を食べられる食堂は、中島では瀬戸1軒。一品料理の他に定食や麺類もある。

📍 松山市中島大浦1621-3 ☎ 089-997-1145
🕒 11:30~14:00, 17:00~20:00(オーダーストップ)
📞 土曜の夜、日曜・祝日



島の魚を
食べるならココ!

刺身(タイ、ハマチ、メバル)850円、メバルの煮付け850円、サヨリの一夜干し350円、ナマコの酢の物350円

家族で 出かける
お気に入りのお店

FAVO RITE

GOU RMET

本場の味が楽しめる 老舗インド料理店



お子様セット650円

森本さんのお気に入り
「スペシャル・ポーク・ララ」
1,030円



森本さんおすすめ
すごく美味しいので大好き。仕事帰りにテイクアウトし、家族でいただきます。インド人のオーナー夫妻とも親しくしています。

らるきー ラルキー

オープンして約20年。数十種類のスパイスで作るカレーは、チキン、ポーク、ビーフ、フィッシュ、ベジタブルなど多彩だ。辛さは5段階。

📍 松山市花園町5-9 ☎ 089-948-0885
🕒 11:00~15:00, 17:00~22:00
📞 無休

れすとらん あかり レストラン AKARI

気さくなシェフ夫妻が温かく出迎えてくれる。料理は本格的なフレンチで、地元の産直市や本場から輸入した食材のみを使用するこだわりよう。

📍 松山市住吉2-6-20 ☎ 089-953-3557
🕒 (平日)18:00~22:00
(土・日曜)12:00~15:00、
18:00~22:00 ※L.O.は1時間前。
祝日の営業時間やメニューは要問合わせ。
📞 水曜



港町の隠れ家風
ビストロでパリごはん



イサキのフライパン焼き
1,080円~

中ムラさんおすすめ
AKARIの料理はどれも美味しくてボリュームたっぷり。N's KitchenのGOPANは大好きでよく買います。



手作りパンと
焼き菓子と雑貨の店



炊いた御飯とくるみが入ったモチモチパンのGOPAN(ゴパン)250円が人気

えぬぎきちんあんどらぼ N's Kitchen & labo

開店前から行列ができるベーカリーカフェ。ハード系パン、調理パン、焼き菓子など20種類の手作りパンはあっという間に売り切れる。

📍 松山市住吉1-3-33
☎ 090-1577-4114 🕒 11:00~16:00
📞 月・木曜、日曜

温野菜のサラダ
タブナードソース540円



愛媛の美味しさが
たっぷりのイタリアン

ふえでりこ Federico

愛媛の季節を感じて欲しいと、地元産直市で調達した旬の野菜や魚が中心。前菜、ピザ、パスタいずれも充実のメニューが揃う。ランチ1,000円

📍 松山市南久米町159-6(2F) ☎ 089-976-0038
🕒 (平日・土曜)11:00~16:00, 18:00~23:00
(日曜・祝日)11:00~21:00
※L.O.は1時間前。夜は予約がのぞましい。
📞 水曜



黒河さんおすすめ
安心できる食材を使っているし、子ども向けに工夫した料理も作ってくれるんです。



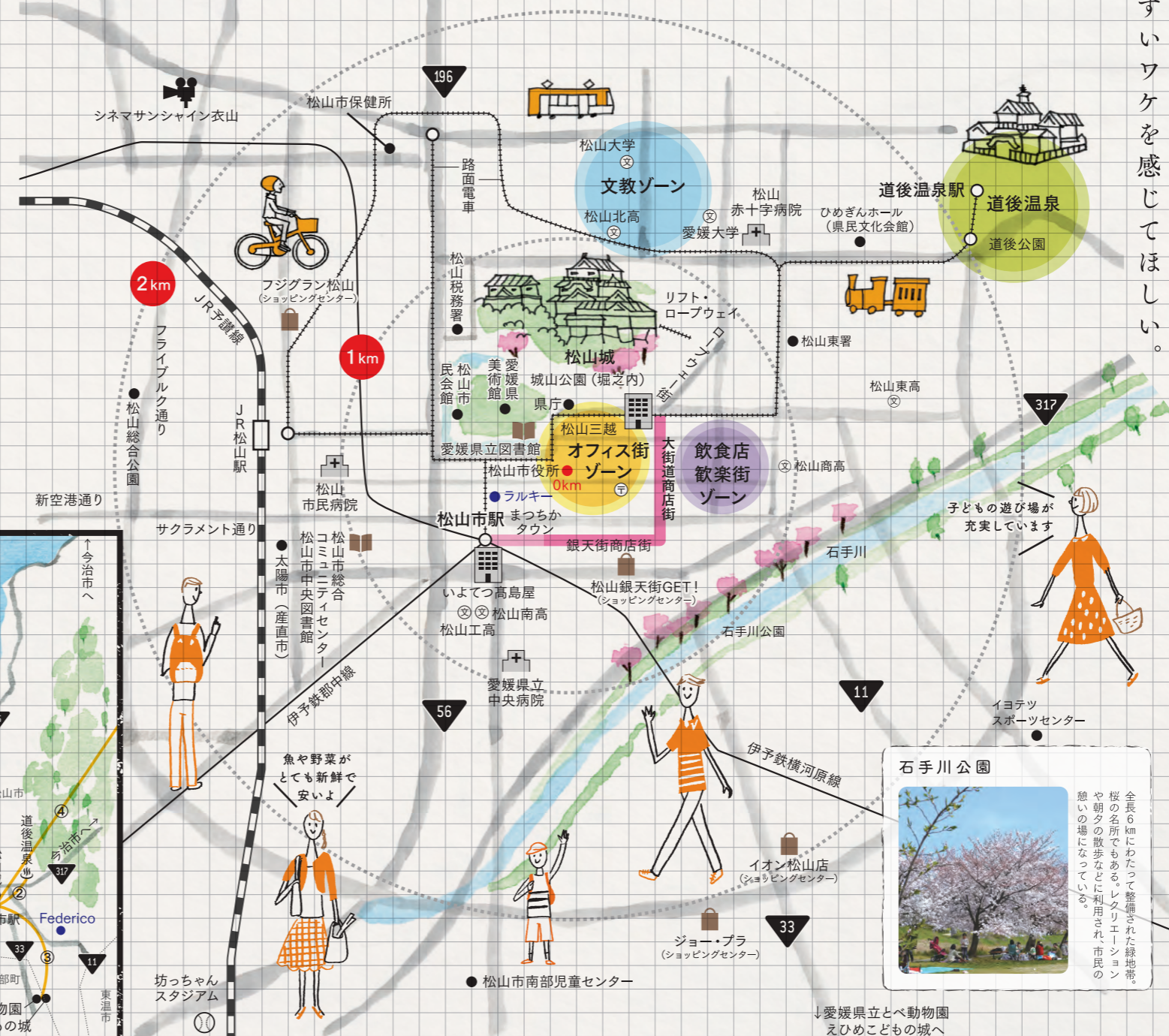
子ども向けランチメニュー
「おこさまプレート」600円

コンパクトシティ

四国随一の近代都市の顔もあれば、落ち着いた城下町の名残も持つ松山。この街が暮らしやすいワケを感じてほしい。



松山に住む人にやさしい理由
松山の気候風土は、明るく穏やかだ。人情ものんびりして、漂う空気に詩情がある。小説『坊っちゃん』には、今は使われていない松山の方言がたくさんで出てくるが、わけでも独特なのが「なもしと菜飯は違うぞなもし」の「なもし」。やわらかであり、どこか間が抜けているようであり、白黒つけない松山人の性格を表している響きがある。



東京から松山まで 約90分でひとつ飛び!
●羽田空港～松山空港 約90分 (JAL, ANA)
●成田空港～松山空港 約100分 (ジェットスター)



データでみる 松山・愛媛の よいところ

この街のよいところを、客観的なデータからとらえてみた。そこから見えてくる暮らしづくりを紹介しよう。

5位 人口10万人あたりの百貨店・スーパー数

愛媛県 6.16 事業所

お洒落も日用品のお買い物も手軽にOK。だから素敵女子が多い!?

出典:平成27年4月分商業動態統計調査(経済産業省)、平成26年10月人口推計(総務省統計局)



子どもの病気にいつでも対応

市の急患医療センターがあり
24時間365日の
小児急患医療体制が整備。

子どもの急な発熱や病気に市が全力でサポート! 安心して子育てができます。

1位 ボランティア活動・社会参加活動にける時間

愛媛県 7分

自分のことにくせくないで周りを気にかける、優しい心の表れかも。

出典:平成23年社会生活基本調査結果(総務省統計局)



1位 通勤・通学時間の短さ

愛媛県 20分

満員電車で何時間も揺られることがないので、余暇時間が多く趣味や家族のために使うことができます。

出典:平成23年社会生活基本調査結果(総務省統計局)



災害への備えは万全です

自主防災組織の結成率は100%
防災士数は全国1位(1,375人・平成23年)

災害が少ないといわれる土地ですが、備えは万全。いざという時でも心強い!

2位 人口10万人あたりの公衆浴場数

愛媛県 48.67 施設

石を投げれば温泉に当たる?!
温泉やスーパー銭湯が人気です。

出典:平成25年度衛生行政報告例(厚生労働省)、平成26年10月人口推計(総務省統計局)



5位 主婦が幸せに暮らせる街ランキング

- 1位 藤沢市(神奈川県)
- 2位 稲城市(東京都)
- 3位 西宮市(兵庫県)
- 4位 三鷹市(東京都)
- 5位 松山市(愛媛県)

特に「家族」の幸せ度が高い結果が。「『家族仲』だけではなく、『ママ友』との関係も良好な人が多く、充実した子育て環境であることが、幸せ度につながっている」と評価されている。「交通アクセスがいい」「充実したショッピングを楽しめる」といった点も。

出典:平成26年学研パブリッシング調べ。全国の20~49歳の主婦を対象に実施。日常生活における幸せ度を聞き、「暮らし」「家族」「お金」「食事・健康」「モノ・趣味」の5つの指標で点数化して全国813都市からトップ50を決定。



4位 都道府県庁所在市における民営借家の家賃(1ヶ月3.3㎡あたり)

松山市 3,536円

生活費の大きなウェイトを占める家賃。安いと、本当に助かります。

出典:平成26年小売物価統計調査(動向編)結果(総務省統計局)



9位 消費者物価地域差指数(持ち家の帰属家賃を除く総合)(全国平均=100)

愛媛県 97.6

生活費がおさえられるので、若い人のお財布にも優しい街。

出典:平成25年小売物価統計調査(構造編)結果(総務省統計局)



道後温泉だけじゃない 松山人の温泉通いは 生活の一部

松山には街のあちこちに温泉やスーパー銭湯があり、市民は自宅感覚で利用している。松山人の温泉事情をお伝えしよう。



(写真協力/たかのこの湯、東道後のそらともし、奥道後 呑湯の守)

温泉好き松山人の声

「美容」
ほぼ毎日夕方、温泉に通っています。体の芯から温まるし、泉質が美容にも役立つというので、お稽古事に行ったら、肌の調子の良さを羨ましがられます。

(60代 主婦 女性)

「疲労回復」
疲労回復が目的です。温泉に浸かると翌日の疲れの取れ方が格段に違うんですよ。今、部活の顧問をしているのですが、教え子たちにもよく温泉通いを勧めています。

(30代 教諭 男性)

「ひとり時間」
仕事帰りはほぼ毎日温泉です。のんびり湯船に浸かりながら一日の仕事振り返ったり、ひとりの時間を過ごしたりしています。なくてはならない習慣です。

(50代 オフィス機器販売 男性)

「旅行気分」
宿泊や食事、エステまで可能な温泉施設ができてすっかり温泉通いにハマりました。友だちと遊びに行く時も「温泉行く?」って行っちゃうし。旅行みたいで楽しいんです!

(20代 公務員 女性)

「泉質チェック」
大阪から転勤で松山に来た時、愛媛に100を超える温泉があることを知ってびっくりしました。実は温泉巡りをして自分で勝手に泉質ランキングをつけているんですよ。

(50代 建設会社勤務 男性)

温泉は松山人の心のオアシス

松山にある日本最古の道後温泉は、観光客のみならず、地元民御用達でもある。かつては「朝湯会」なるものが存在し、道後温泉の一番風呂に通う人たちのコミュニティがあったほど。

この道後温泉ばかりが話題になる松山だが、実は街のあちこちに温泉やスーパー銭湯といった温浴施設が豊富にある。お風呂好きの松山人はお気に入りの「マイ温泉」を持っていて、自宅のお風呂代わりに毎日通っている人が

ザラにいるのだ。彼らが口を揃えているのは、ゆったりと足を伸ばして入浴でき、サウナや露天風呂、歩行浴などいろんな種類が楽しめて、疲労の回復度が格段に違うということ。泉質によっては肌の調子が良くなり、美容や健康のために温泉通いをしている女性も少なくない。

女子会やデートにも利用

最近では温浴施設も多様化して、宿泊やレストラン、エステと一緒にあった施設が

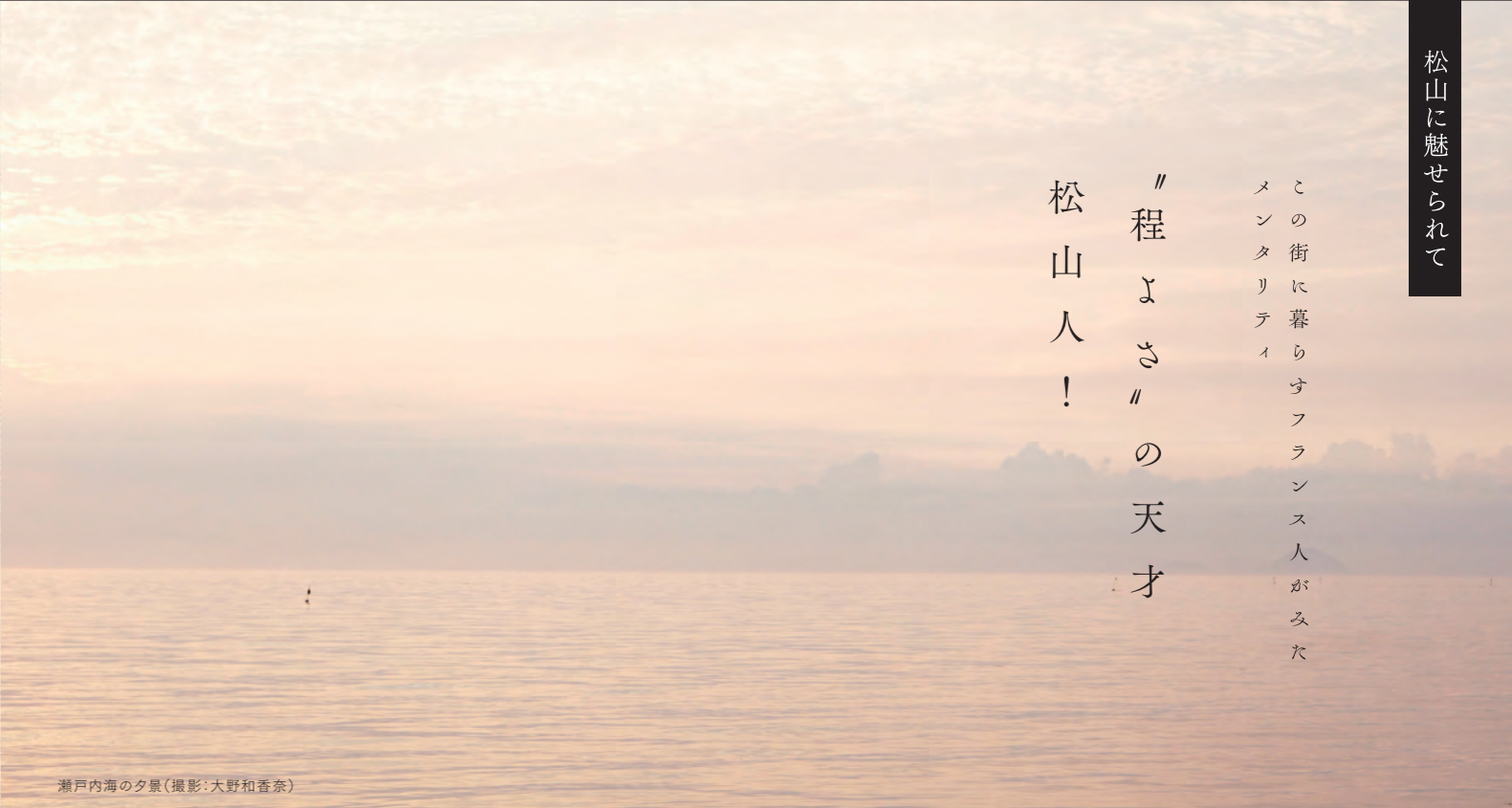
増えている。そこで温泉の意外な使い方が登場している。その一つが女子会だ。温泉に浸かったあと、お部屋で美味しい料理とおしゃべりを楽しめるのも人気の秘密。また、若者の間では温泉デートなるものも行われたり、親戚一同の集まりが温泉で開かれたりすることもある。

いずれも、のんびりゆるい松山人の特徴が、顕著に現れたライフスタイル。この街の人たちは、湯船に浸かって、身も心も溶きほぐされる幸福感を、大切にしているのである。

この街に暮らすフランス人がみた
メンタリテイ

「程よさ」の天才

松山人！



瀬戸内海の夕景(撮影:大野和香奈)

感覚を発酵させて
言葉上手に発する

ウエス・ジャン＝マークさんは日本在住35年。東京、京都、神戸、沖縄で暮らした後、4年前、松山にやって来た。松山は仕事上の知人がすすめてくれた街だという。

「まだ、伊予弁もしゃべれないし、わからない部分がありますが…」と前置きしつつ、「松山人は感じたことや感情を、自分の中で発酵させてから、上手に言葉を返しますね。」

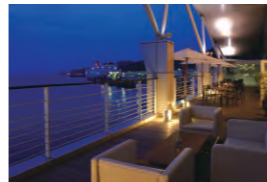
物事を進めるのも、やんわりと行う、心で動かす、上品に動かすという感じがします。配慮しながら慎重にすすめ、ちょうどいいところに着地させる。

人と人が興奮しながら繋がるのは、松山人の気質に合いません。仕事も友情も、醸し出すものが嵌ったところで、しかる

べく成立する。もう「程よさの天才」じゃないでしょうか。でも、これがいやらしくないんですよ。目立たないから誰も凄いとほめませんが、本当は容易なことではないですね」

松山人は曖昧さを好み、内向的なところもあるという。「この特性は女性的だといえますが、そもそも日本の言葉そのものが女性的。松山は日本語の特徴が如実に表れている街で、松山人は、言葉に対する意識が高いと思います。インバウンドをはじめ、ことばの民度が高い松山に、新しい国際交流の波は押し寄せてきています。他の市町村とは違う、松山独特の対応を期待したいですね」

街角には俳句ポストがあり、「ことば」によるまちづくりを進めている松山。言葉をフオーカスするのは、松山人のパーソナリティに起因するのかもしれない。



ウエス・ジャン＝マーク (Jean-Marc Weiss) フランス、パリ生まれ。ソルボンヌ第3大学日本語学科卒業。来日以降、企業で技術翻訳や通訳を務めた後、独立。東京と松山に事務所を設けて翻訳や通訳を行う。仏語・日本語・英語・アジア言語など8カ国語に精通している。お気に入りの場所、松山観光港ターミナルビル2Fで撮影。



まつやま婚ツアー開催のお知らせ

「道後 de まどんなCON」

12月12日(土)～13日(日)

砥部焼の手びねり体験、お遍路体験、道後温泉散策など、盛りだくさんのツアー内容！
もちろん、瀬戸内の新鮮で美味しい海の幸も、お腹いっぱい召し上がれ！



松山市では、松山市在住の未婚男性と、都市部在住の未婚女性を対象に、結婚支援イベントを開催します。

都会の喧騒を離れて暮らしたい。でも、都会でのショッピングは捨てがたい…、友達や家族と離れて暮らすのが不安…。

松山なら、空港から毎日数多くの航空便やLCCも運行しているし、空港から市街地もすぐ近く。

雨が少なく温暖な気候、すぐ近くに大自然、おいしい空気、ちょっと疲れたら家族や彼と温泉、毎日食べられる新鮮な海産物や農産物。

仕事をしながら子育てしやすく、地元の主婦も住みやすいと評価する松山なんです。

松山の男性と出会って、恋し、結婚し、これからの人生を、松山でより豊かなものにしませんか？

開催日時	2015年12月12日(土)～12月13日(日)の2日間	募集〆切	11月29日(日)
開催場所	愛媛県松山市	参加費	5,000円
参加条件	男性 松山市在住の独身男性 女性 松山市外在住の独身女性	※女性の方の交通費・宿泊費は、30,000円まで補助。	
募集人員	30名(男性15名/女性15名) ※定員を上回る応募があった場合には、抽選により決定させていただきます。	主催	松山市役所 シティプロモーション推進課 TEL:089-948-6707

「忽那 愛ランド de まどんなCON」

10月31日(土)～11月1日(日)

映画やテレビのロケ地めぐりやレトロな港町散策。みかん色に染まる島でのゆったりとした時間…
松山の海の魅力満載のツアーです。島の新鮮な海の幸をお楽しみください。
美しい島で心をリセット。素敵な出会いをあなたにお届けします。



開催日時	2015年10月31日(土)～11月1日(日)の2日間	募集〆切	10月18日(日)
開催場所	愛媛県松山市内のレトロな港町・三津浜と離島 興居島(ごごしま)	参加費	5,000円
参加条件	男性 松山市島しょ部在住・出身の独身男性 女性 独身女性	※女性の方の交通費・宿泊費は、30,000円まで補助。	
募集人員	20名(男性10名/女性10名) ※定員を上回る応募があった場合には、抽選により決定させていただきます。	主催	松山市役所 坂の上の雲まちづくりチーム TEL:089-948-6816

<両ツアーのお問い合わせ> えひめ結婚支援センター TEL:089-933-5596 (担当 藤崎・新井) E-mail:aicon@msc-ehime.jp

移住体感
ツアー

松山への移住を検討中の方へ

「まつやま暮らし体感ツアー」のお知らせ

10月24日(土)～25日(日)

松山の暮らしやすさを実際に体感してもらうための下見ツアーを計画しました。
まずは、ツアーに参加して松山の魅力を感じてみませんか！



開催日時	2015年10月24日(土)～25日(日)の2日間	募集〆切	10月12日(月) ※ツアー詳細は、申込者に順次送付します
募集対象	愛媛県外にお住いの方	お問い合わせ	松山市役所 シティプロモーション推進課 移住・交流担当 TEL:089-948-6707 (直通)
参加費	無料 ※自宅から現地までの往復交通費及び食事代・宿泊費は参加者負担		
募集人員	20人(先着順)		

気になるツアーの詳細・申し込みは
webサイトをごらんください。

<https://www.dandanmatsuyama.com>

いい、加減。まつやま

検索





1組 2名様

① 松山・道後の旅にご招待

成田～松山往復航空券＋東京第一ホテル松山 1泊朝食付宿泊券

松山市の中心部にあり、道後温泉などの観光名所へのアクセスも良いシティホテル。今年2月全客室リニューアルオープンしました。市民のオアシス・城山公園と松山城が周辺に望めるロケーションの良さが魅力です。成田～松山を結ぶジェットスターの航空チケットをセットにした宿泊券で、松山・道後の旅をお楽しみください。

東京第一ホテル松山 ☎089-947-4411

<http://www.hankyu-hotel.com/hotel/tdhmatsuyama/index.html>

松山への旅や特産品など
素敵なプレゼントが
当たります

『暖暖松山』8号はいかがでしたか。
お読みいただいた方の中から、
抽選で松山の素敵なプレゼントが
当たります。

当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。
応募締切/2015年10月9日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

10名様



② 水口酒造から 「清酒『熟田津』(上撰酒)」720ml

万葉集の額田王の和歌、「熟田津に 船乗りせむと月待てば 潮もかなひぬ 今は漕ぎ出でな」は道後温泉で詠まれたといわれています。水口酒造は、道後唯一の老舗の蔵元で、清酒「仁喜多津」で有名。今年新発売された清酒「熟田津」は、和歌にちなんだお酒です。直営の飲食店「にきたつ庵」も人気。

水口酒造 ☎089-924-6616
<http://www.dogobeer.co.jp/>

10名様



③ うつぼ屋から 「ブラッドオレンジゼリー 『瀬戸の夕陽』」6個入り

松山を代表するお土産「坊っちゃん団子」でおなじみのうつぼ屋。ブラッドオレンジゼリーは、真っ赤な果肉とジューシーなオレンジの香り、コクのある甘味が特徴の愛媛県産ブラッドオレンジを100%使用。うつぼ屋各店、松山空港、キオスクなどで販売。

うつぼ屋 ☎089-978-1611
<http://www.utuboya.co.jp/>

3名様



④ みずたま農園から 「温州みかん」10kg

P8の蛇石さん一家が営むみずたま農園は、「できる限り自然と人に優しい柑橘栽培を」「安心安全な柑橘を適正価格で提供する」がモットー。瀬戸内の潮風とお日さまをいっぱい浴びた糖度の高い温州みかんをお届けします。下記HPで、みかんやレモン、タマネギ、鳥ひじきのネット販売をしています。
※発送は11月頃になります

みずたま農園
<http://mizutama-farm.shop-pro.jp/>

5名様



⑤ 梅野精陶所から 「梅山窯そぼ猪口」2個セット

約230年の歴史がある国の伝統的工芸品「砥部焼」は、松山の隣町、砥部町の特産品。窯元の中で最も古くて大きい梅野精陶所は、厚手の白磁に藍色の手書きの文様が描かれた、伝統的な作風。道後商店街の酔古堂などで入手できます。プレゼントは写真のそぼ猪口(なすな文・十草文〈とくさもん〉)。

梅野精陶所 ☎089-962-2311

ハガキでご応募

ハガキに次の①～⑦を明記して、下記までお送りください。

①ご希望のプレゼント番号(ひとつ)②本誌を読んだ感想③〒住所④お名前⑤年齢⑥性別⑦電話番号

〒102-8515 (住所不要)サンケイリビング新聞社 企画開発部

「暖暖松山」プレゼント事務局

◎受付業務は、サンケイリビング新聞社が代行します。個人情報申込者の許諾なく第三者に提供することはありません(法令等により開示を求められた場合を除く)。

◎個人情報、プレゼント賞品の発送、及びアンケート集計のみに利用し、厳重に管理いたします。

◎プレゼント賞品に関するお問い合わせは、えひめリビング新聞社までご連絡ください(TEL089-931-5800)。

◎松山市の個人情報保護制度については、松山市のホームページをご覧ください。<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/johokokai/kojinjouhouhogoseido.html>

◎当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。応募締切/2015年10月9日(金)。ハガキの場合は、当日消印有効

パソコン・スマホでご応募

<https://www.dandanmatsuyama.com/dandan/>



暖暖松山プレゼント

検索

パソコン・スマートフォンでご覧になれます

2015年8月発行/企画・発行:松山市 総合政策部 シティプロモーション推進課 TEL089-948-6707

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7番地2 松山市ホームページ <https://www.city.matsuyama.ehime.jp/>

暖暖松山編集部:サンケイリビング新聞社・えひめリビング新聞社内 撮影:恒岡健太 アートディレクション・デザイン:相澤事務所 タイトルデザイン:漆原悠一(tento)

印刷・製本:NTT印刷 配布:サンケイリビング新聞社

この冊子は、再生紙とベジタブルインキを使用しています

※掲載データにつきましては、2015年7月現在のものです。情報の内容は変更される場合がございますのでご了承ください。本誌記事、写真等の無断複製、及び転載を禁じます

